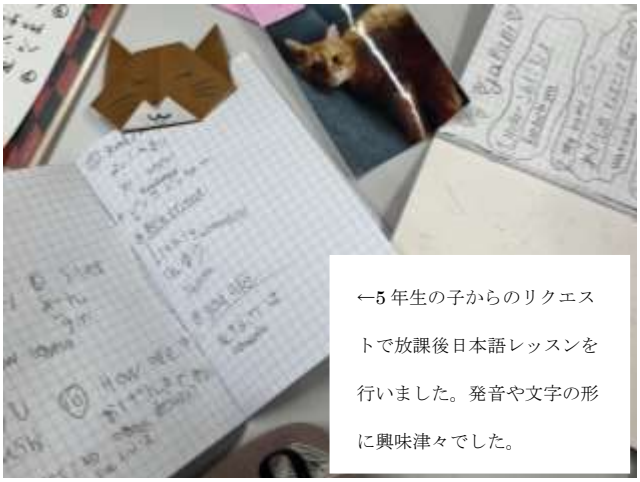
フィンランド つうしん

南小岩第二小学校
福岡　洋美
令和５年３月１７日
No. ６２

フィンランドの学校で、ボランティアをしています。このお便りでは、私が発見したことや経験したことをお伝えしていきます。

フィンランドで私が会話をする際の言語は、主に英語です。時には「言いたいことがうまく伝えられない」「聞かれていることがよく分からない」ということもありました。そんな時どのようにして切り抜けていたのかを紹介します。



←5年生の子からのリクエストで放課後日本語レッスンを行いました。発音や文字の形に興味津々でした。

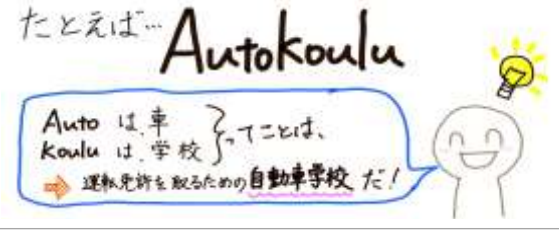
①繰り返し言う、聞き取れた単語を復唱する。

②意味の近い言葉で言い直しながら説明する。

（ヒントゲームのようにどんどん言います）

③身振り手振りで表現する。

④写真や絵を見せる。⑤Google翻訳を使う。

完璧な英語でなくても「伝えたい！」という気持ちで諦めず言葉を重ねると交流できることを実感しました。同時に、より正確に物事や考えを伝えたい！という気持ちも湧いてきました。勉強を続けていこうと思います。

フィンランド語が分からなくて困っていた時、単語や身振りで助けてくれる人たちが多くいました。だんだんと簡単なフィンランド語を覚えていくと今までさっぱり分からなかった文字の意味や会話が少し理解できて嬉しかったです。